



【写真上左右】勇壮な響で会場を沸かせた能登町の弥栄太鼓と小林市のJ C太鼓 【写真下】調印式後に催された祝賀会で、姉妹都市締結を祝って鏡開き



両首長や議長など12人による鏡開きのあと、溝口誠二議長の発声で乾杯。和やかな雰囲気の中、小林市からJ C太鼓、能登町からは弥栄太鼓が、勇壮な太鼓を披露して、姉妹都市盟約締結を祝いました。また、両市町の観光PRビデオを上映。出席者は、今後の小林市と能登町との交流について、花を咲かせていました。

姉妹都市締結記念祝賀会は同日午後17時30分から挙行されました。両市町の首長をはじめ、両議会の議長、県議会議員、市議会議員のほか、小林市と能登町の政治、経済、観光関係者ら約80人が一堂に会しました。肥後市長は「これまでの交流事業に加え、人的、物的

関係者約百人が締結を祝う

的、文化的交流を官民一体となつて取り組んでいきたい」とあいさつ。持木町長は「能登町と小林市は、言葉や文化などあらゆる面で、大きな違いがある。この違いがあるからこそ、新たに知ることや、得るものが多いことであり、改めて姉妹都市を締結する意義が深いと確信している」と述べました。

Interview



小林青年会議所 理事長 J C太鼓 ぶくもりかずま 福森一真 さん

今回の姉妹都市締結をきっかけに、互いに行き来し、交流を深められればと思っています。今回の太鼓のような文化や、産業面での活発な交流も期待したいです。その交流を通じて、互いの市町を盛り上げていければと思います。



能登町 弥栄太鼓保存会 代表 もとやじゅんいち 本谷順一 さん

小林市に来てまず感じたことは、石川県より温かいということ。南国に来たと思えました。今回、秋まつりに出演させてもらい、キリコも展示しました。能登はまつりが盛んです。これを機会に、能登へ多くの人に来て楽しんでほしいです。



平成24年11月23日 石川県 能登町と「姉妹都市」締結



「両市町は今後もさらに、相互の歴史、風土、文化を理解し、交流を推進するとともに、地域活性化および福祉の向上を図りながら両市町の発展を希求し、姉妹都市の盟約を締結する」 11月23日、天守閣で挙行された姉妹都市調印式。肥後正弘小林市長と持木一茂能登町長は、盟約書にサインすると固く握手を交わしました。列席者からは、締結を祝う盛大な拍手が送られました。調印後、友好のしるしとして、両市町の旗を交換。また、姉妹都市提携の記念

旧野尻町と旧能都町が始まったつながりは、時を経て、合併を経ても途絶えることなく続いた。そして両自治体は、11月23日、小林市と能登町として姉妹都市盟約を締結。新たな関係がスタートした。

平成7年に旧野尻町と旧能都町が姉妹都市を締結して以来培った絆は、両町が合併後も継続。そしてこの日、小林市と能登町として姉妹都市を結んだ両市町は、今後、新たな絆を形作っていくことでしょう。 として、記念樹目録を交換しました。互いに贈ったのは、小林市の木「モミの木」と、能登町の木「モチノキ」です。

